

みんなで考えようアルコール依存症支援 事例検討会～地域から治療へ

#関わり方 #つなげ方 #支え方

座長：医療法人北仁会 旭山病院 理事長 山家 研司 先生
アドバイザー：社会医療法人豊生会 豊生会 元町総合クリニック
消化器内科・在宅医 梅村 真知子 先生
アドバイザー：日本医療ソーシャルワーカー協会
依存症リカバリーソーシャルワークチーム 田中 幸 先生



2024
2/10 土

時間：9:30～12:30

場所：かでの2.7 520会議室
（北海道立道民活動センター）
（札幌市中央区北2条西7丁目）

定員：30名

（定員になり次第、申込をお断りさせていただきます）

参加費
無料

グループワーク
事例検討会

研修の目的、内容

アルコール依存症の方は日本に約100万人と推測されていますが、治療に繋がっている方は約5万人、5%に留まっている現状があります。この差はトリートメントギャップと呼ばれています。その要因の一つとして否認という症状があり、自分が依存症であることをなかなか認められません。皆さまにも、説得しても精神科に繋がらなかった経験があるのではないのでしょうか。その一方で、内科の病院には、ほとんどの依存症の方が受診しています。そのことをヒントに、今回の研修では皆さまと一緒に依存症支援を考えていけたらと思います。依存症の方々は、何かに困っています。身体のこと、家族のこと、お金のこと、仕事のこと、それらには断酒治療だけではなく、多角的な支援が必要となります。今回の研修では、明日から出来る依存症支援をそれぞれの立場から考えられればと思います。

申し込み方法：右のQRコードからお申込みください

締め切り：2024年2月7日（水）

お問い合わせ：医療法人北仁会 旭山病院

kyoten.asahiyaama@gmail.com



さっぽろ市
02-F04-23-1746
R5-2-1149